

日仏音楽協会＝関西の誕生 と 《 山田 忍 記念賞 》について

日仏音楽協会＝関西は、1970年に大阪の地で生まれました。フランス音楽に対する人々の関心と理解を深め、より多くの人が優れたフランス音楽に触れる機会をつくりたい、という願いのもと、当時のフランス大使館文化部をはじめ、様々な行政機関や民間企業の後援や協賛をいただいて、現在に至っています。

日仏音楽協会＝関西が生まれたきっかけは、ある日本人ピアニストが開催した演奏会でした。

1950年代に留学先のパリで、フランス音楽の魅力を知り、これを演奏することをライフワークとしたいという思いを抱いた彼女は、自身のピアノ・リサイタルで、ラヴェルやドビュッシーをはじめ、フランスの作曲家の作品を積極的にとりあげました。

ある時、聴衆が、比較的長めの休符が入ったタイミングで、まだ曲が終わっていないにもかかわらず、勘違いして拍手をしたそうです。客席で聴いていた当時のフランス大使館文化部のメンバーや、関西駐在のフランス総領事が「日本ではまだまだフランス音楽が知られていない。少しでも多くの人にフランス音楽の魅力を知ってもらいたい」と声を上げ、この呼びかけに賛同する演奏家や音楽評論家が集まり、設立されたのが「日仏音楽協会＝関西」です。

フランス音楽の魅力をより多くの人々に知っていただき、親しんでいただくために、協会が立ち上げた企画が、フランス音楽作品に特化したコンクール「フランス音楽コンクール」でした。はじめの頃には、ピアノ部門、声楽部門に加えてヴァイオリン部門もありましたが、後にピアノ部門（ソロ）と声楽部門の2つで定着しました。

この「日本人ピアニスト」が、山田 忍（やまだ し の ぶ 1934－2016）です。

山田 忍は、2016年に脳出血で亡くなるまで、演奏家として活動すると同時に後進の育成にも力を注ぎ、日本におけるフランス音楽の浸透と振興に尽力し続けました。本賞は、2015年度までは、彼女が創立し、校長を務める、日本では数少ないクラシック・ピアノの高等専門教育を集中的に行なう専修学校「関西ピアノ専門音楽学校」の名前を冠した賞でしたが、本人の逝去に伴い、その功績を称え、フランス音楽に傾けた情熱を引き継ぐべく、「山田 忍 記念賞」とし、当コンクールのピアノ部門（原則として第3位）入賞者に授与されます。受賞者におかれては、今から70年以上前、フランス音楽を学びたい一心で単身渡仏した一人のピアニストの熱い想いに心を寄せていただき、さらに研鑽を積まれますことを、主催者として心から願うものであります。

2019年11月10日

日仏音楽協会＝関西

— 山田 忍 年譜（1934～2016） —

1934 年(昭和9)4 月 18 日 大阪住吉区に 山田 作次郎 と つま の長女として生まれる。家庭は音楽と無関係の環境だった。

小学校低学年時、音符が理解できず「音楽」科目の成績が悪かったため、近所の女性からピアノの手ほどきを受けたことがきっかけで、ピアノに興味を持ち始める。中高生になって、自分用のピアノを買ってもらえるまで、もっぱら教則本の巻末にある紙製の鍵盤や、小学校の講堂や音楽室にあるピアノを借りて練習していた。

1952 年(昭和 27)、大阪府立天王寺高校在学中、18 歳の時に、大阪・朝日会館で開かれたピアニスト、アルフレッド・コルトーの来日演奏会を聴きに行き、感動と衝撃を受け、その場で留学を決意、コルトー本人に指導を願い出る。神戸女学院大学音楽学部ピアノ科卒業後、間もなく、大阪・天保山から旅客船(3等船席)でフランス・マルセイユへと向けて出発。

1957 年(昭和 32)、コルトーが校長を務める、パリの音楽学校「エコール・ノルマル・ド・ミュージック・ド・パリ」に留学、卒業。帰国後、ピアノ教師としてだけでなく、演奏家として広く活動始める。

1968 年(昭和 43)、関西ピアノ専門音楽学校を設立。フランスの音楽学校のシステムを取り入れた専門教育機関として、文部省(当時)から専修学校の認可を得、音楽の高等専門教育活動を始める。同時に、世界15か国を超える地域で演奏活動を展開。カナダ、米国、フランス、韓国等の音楽大学から、数多くの公開レッスンに教授として招聘される。

1976 年(昭和 51)、フランス政府より学術文化勲章を受けられる。(教育活動に対し)

1978 年(昭和 53)、フランス政府より芸術文化騎士十字勲章を受けられる。(教育活動にに対し)

1985 年(昭和 60)、フランス政府より国家功労勲章を受けられる。(芸術活動を通じてのフランスへの貢献に対し)

1989 年(平成 1)、関西ピアノ専門音楽学校旧校舎を新校舎に建て替え、校内に200名収容可能な音楽ホール「ショパン・ホール」を設置

(設計・施工 株式会社大林組)。

1995 年(平成 7)、日本政府より、文部大臣表彰を受ける。(専修学校教育振興の功労に対し)

2016(平成28)、脳出血により逝去。

大阪府教育委員、大阪ユネスコ協会副会長、大阪府立急性期総合医療センター倫理委員、日仏音楽協会＝関西 理事長、日仏文化協会 評議員 大阪日仏協会 運営委員 等を歴任。

◆著書『ピアノのあいまに』『レ・ランコントル』『脳外科病棟から』『よみがえった指』『ピアニストのたわごと』『パリへの手紙』『宝物をくれた人たち』『宝物をくれた人たち Vol.2』

◆LP(キングレコード)『山田忍 フランスピアノ音楽』(第1集・第2集)

◆CD『山田忍フランス音楽 ベル・エポックの世界』『山田 忍1962～1998』

◆5 年毎に「音楽生活～周年記念」と銘打ち、リサイタルを開催(於 サンケイホール、サンケイホールブリーゼ、ザ・フェニックスホールなど)。その他、ガブリエル・タッキーノ、ダニエル・ディファイエなど、欧州の著名演奏家との共演多数。関西ピアノ専門音楽学校においても、在校生・卒業生・教授陣を率い、定期的に演奏会を開催し続けた(於 大阪国際交流センター、ザ・フェニックスホールなど)。

